



## 2.定期検査報告書(昇降機)(第一面)の記入要領

整理番号 ( 号機) ・ 協議会に登録されている当該昇降機の整理番号(報告するものを特定する固有の番号です。)を、号機は呼称番号を記入すること。

宛先(特定行政庁)  
様

・ 整理番号は、枠に掛からない範囲で、大きく書くこと。

・ 千葉県知事

・ ○ ○ 市長(千葉、船橋、市川、松戸、柏、市原、佐倉、八千代、我孫子、浦安市、木更津、習志野、流山市、成田市の各市)

(建築物の所在地の特定行政庁が上記以外の市及び郡の場合は千葉県知事宛とすること。)

令和 年 月 日

・ 報告者(所有者又は管理者)から報告書の内容に承認を受けた年月日を記入すること。

報告者氏名

・ 下欄の【1.所有者】又は【2.管理者】の「イ」と「ロ」を記入する。

(下欄の【1.所有者】と【2.管理者】が異なる場合は、昇降機の管理者を記入すること。)

・ 法人の場合は、支店長又は所轄責任者を記入すること。

検査員氏名

・ 検査者が複数の場合は、「代表となる検査者」を記入すること。

### 【1.所有者】

【イ.氏名のフリガナ】

・ 所有者が法人の場合は、「ロ」に法人の名称及び代表者の職位(肩書)と氏名を、「ハ」、

【ロ.氏名】

「ニ」、「ホ」には法人の主たる事務所の所在地の郵便番号、所在地及び電話番号を記入すること。(所有者は建築物(昇降機)の登記上の所有者を記入すること。)

【ハ.郵便番号】

【ニ.住所】

・ 変更があった場合は、変更前の所有者も併せて記入のこと。

【ホ.電話番号】

### 【2.管理者】

【イ.氏名のフリガナ】

・ 管理者が法人の場合は、「ロ」に法人の名称及び代表者の職位(肩書)と氏名を、「ハ」、

【ロ.氏名】

「ニ」、「ホ」には法人の主たる事務所の所在地の郵便番号、所在地及び電話番号を記入すること。

【ハ.郵便番号】

【ニ.住所】

・ 管理者は所有者から昇降機及び昇降機等の維持管理上の権限を委任されている責任者を言い、建物の管理人は含まれません。

【ホ.電話番号】

・ 変更があった場合は、変更前の管理者も併せて記入のこと。

### 【3.報告対象建築物等】

【イ.所在地】

・ 「イ」には建築物が設置されている場所の「住居表示」を記入すること。

【ロ.名称のフリガナ】

・ 「ハ」には、建物の名称(ビル名)を記入すること。

【ハ.名称】

・ 変更があった場合は、変更前の建物の名称も併せて記入のこと。

【ニ.用途】

・ 「ニ」には、建物の主な用途(事務所、店舗、共同住宅、倉庫、病院等)を記入すること。

### 【4.報告対象昇降機】

【イ.検査対象

昇降機の台数】

・ 報告する昇降機の台数を記入すること。

【ロ.指摘の内容】

要是正の指摘あり

(うち既存不適格)

要重点点検の指摘あり

指摘なし

・ 「要是正の指摘あり」は、第二面の6欄の「イ」において「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れた昇降機の台数を記入する。又「既存不適格」、「要重点点検の指摘あり」は、第二面の6欄の「イ」において「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークが無く、かつ、「要重点点検の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れた昇降機の台数を記入すること。

【ハ.指摘の概要】

・ 指摘された事項のうち特に報告すべき事項があれば記入すること。

(指摘の内容について簡素に記入すること。)

【ニ.改善予定の有無】

・ 第二面の6欄の「ハ」において改善予定があるときは「有」のチェックボックスに

「レ」マークを入れ、改善予定年月のうち、最も早いものを併せて記入すること。

【ホ.その他特記事項】

・ 指摘された事項以外に特に報告すべき事項があれば記入すること。

3. 定期検査報告書 (昇降機) (第二面)

昇降機の状況等

【1.昇降機に係る確認済証交付年月日等】

【イ.確認済証交付年月日】 昭和・平成・令和 年 月 日 第 号

【ロ.確認済証交付者】  建築主事  指定確認検査機関 ( )

【ハ.完了検査年月日】 昭和・平成・令和 年 月 日 第 号

【ニ.検査済証交付年月日】 昭和・平成・令和 年 月 日 第 号

【ホ.検査済証交付者】  建築主事  指定確認検査機関 ( )

該当を○で囲む

指定確認検査機関名を記入。

第 号

第 号

初回・未報告の場合にチェックする

【2.検査日等】

【イ.今回の検査】 令和 年 月 日 実施

【ロ.前回の検査】  実施 ( 年 月 日 報告 )  未実施

【ハ.前回の検査に関する書類の写し】  有  無

【3.検査者】

(イ.資格) ( ) 建築士 ( ) 登録第 号

昇降機等検査員 第 号

報告者(所有者又は管理者)が保管していること。

【ロ.氏名のフリガナ】

【ハ.氏名】

【ニ.勤務先名称】

( ) 建築士事務所 ( ) 知事登録第 号

【ホ.郵便番号】

【ヘ.所在地】

建築士の検査で、その人が建築士事務所に勤務している場合記入すること。

(イ.資格) ( ) 建築士 ( ) 登録第 号

昇降機等検査員 第 号

【ロ.氏名のフリガナ】

【ハ.氏名】

【ニ.勤務先名称】

( ) 建築士事務所 ( ) 知事登録第 号

【ホ.郵便番号】

【ヘ.所在地】

建築士の検査で、その人が建築士事務所に勤務している場合記入すること。

【4.保守業者】

【イ.名称】

【ロ.郵便番号】

【ハ.所在地】

3の検査員の勤務先と異なる場合記入すること。

【ニ.電話番号】

【5.昇降機の概要】

【イ.種類】  建築設備  工作物

【ロ.種別】  エレベーター (  斜行 )  エスカレーター  小荷物専用

【ハ.駆動方式】  ロープ式  油圧式  その他 ( )

【ニ.用途】  乗用 (  人荷共用 )  非常用  寝台用  自動車運搬用  荷物用

【ホ.機械室の有無】  有  無

【ヘ.仕様】 (電動機定格容量) (定格速度) (積載量) (定員) (踏段の幅) (勾配)

( Kw ) ( m/min ) ( Kg ) ( 人 ) ( m ) ( 度 )

【ト.停止階】 B2、B1、1~6、R 階 (停止階床数 9) →(B2~R)では停止階床数が不明となる。

【チ.製造者名】

エスカレーターのみ

【6.検査の状況】

【イ.指摘の内容】  要是正の指摘あり (  既存不適格 )

要重点点検の指摘あり  指摘なし

【ロ.指摘の概要】

指摘があった場合(要是正・要重点点検)内容を簡潔に記入すること。

【ハ.改善予定の有無】  有 ( 令和 年 月に改善予定 )  無

【7.不具合の発生状況】

【イ.不具合】  有  無 【ロ.不具合の記録】  有  無

【ハ.改善の状況】  実施済  改善予定 ( 令和 年 月に改善予定 )

予定なし (理由: )

【8.備考】

部品交換などによる変更が生じた場合、【8】の備考欄に記入すること。

### 3. 定期検査報告書(昇降機)(第二面)の記入要領

整理番号 ( 号機) ・ 協議会に登録されている当該昇降機の整理番号(報告するものを特定する固有の番号です。)を、号機は呼称番号を記入すること。

#### 【1.昇降機に係る確認済証交付年月日等】

- 【イ.確認済証交付年月日】 ・ 「イ」及び「ハ」は直前の確認及び完了検査について記入すること。
- 【ロ.確認済証交付者】 ・ 該当するチェックボックスに「レ」マークを入れ、「指定確認検査機関」の場合には、併せてその名称を記入すること。
- 【ハ.完了検査年月日】 ・ 名称を記入すること。
- 【ニ.検査済証交付年月日】 ・ 該当するチェックボックスに「レ」マークを入れ、「指定確認検査機関」の場合には、併せてその名称を記入すること。
- 【ホ.検査済証交付者】 ・ 名称を記入すること。

#### 【2.検査日等】

- ・ 検査を複数の日にまたがって行ったときは、その最終日の年月日を記入すること。
- 【イ.今回の検査】 ・ 直前の報告日を記入すること。(報告の対象でなかった場合には「未実施」のチェックボックスに「レ」マークを記入すること。
- 【ロ.前回の検査】 ・ 前回の定期検査の結果を記録した書類の写しの保存の有無について記入すること。
- 【ハ.前回の検査に関する書類の写し】

#### 【3.検査者】

- 【イ.資格】 ・ 代表となる検査者並びに当該昇降機の検査を行ったすべての検査者について記入し、併せて当該検査者の登録又は交付番号等を記入すること。(当該昇降機の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄に斜線を引くこと。)
- 【ロ.氏名のフリガナ】
- 【ハ.氏 名】
- 【ニ.勤務先名称】 ・ 検査者が法人に勤務している場合は、検査者の勤務先(会社名)を記入し、勤務先が建築士事務所の場合は、事務所登録番号を併せて記入すること。
- 【ホ.郵便番号】
- 【ヘ.所在地】
- 【ト.電話番号】 ・ 「ホ」から「ト」までは、検査者が法人に勤務している場合は、検査者の勤務先について記入し、検査者が法人に勤務していないときは、その者の住所を記入すること。
- ・ (その他の検査者)が(代表となる検査者)と同一の勤務先の場合は、「同上」と記入すること。

#### 【4.保守業者】

- 【イ.名称】 ・ 検査者の勤務先が上記の3欄の「ニ」と同一の場合は「同上」と記入すること。
- 【ロ.郵便番号】
- 【ハ.所在地】 ・ 検査者が法人に勤務していないときは、その者の住所を記入すること。

#### 【5.昇降機の概要】

- 【イ.種類】 ・ 建築設備である昇降機の場合には「建築設備」のチェックボックスに、工作物である昇降機の場合には「工作物」のチェックボックスに、それぞれ「レ」マークを記入すること。
- 【ロ.種別】 ・ 「エレベーター」、「エスカレーター」又は「小荷物専用昇降機」のうち該当するチェックボックスに「レ」マークを記入し、エレベーターであって階段の部分、傾斜路の部分その他これらに類する部分に沿って昇降するものは、併せて「斜行」のチェックボックスに「レ」マークを記入すること。
- 【ハ.駆動方式】 ・ 「ロ」で「エレベーター」の場合に、「ロープ式」、「油圧式」又は「その他」のうち該当するチェックボックスに「レ」マークを記入し、「その他」のチェックボックスに「レ」マークを入れたときは、併せてその具体的な駆動方式を記入すること。
- 【ニ.用途】 ・ 「ニ」は、「ロ」で「エレベーター」の場合に、「乗用」、「寝台用」、「自動車運搬用」又は「荷物用」のうち該当するチェックボックスに「レ」マークを記入し、併せて、「乗用」で、「人荷共用」又は「非常用」であるものは、それぞれ該当するチェックボックスに「レ」マークを記入すること。  
(「荷物用」とは、乗用、寝台用又は自動車運搬用以外のものをいう。)
- 【ホ.機械室の有無】 ・ エレベーターについてのみ、該当するチェックボックスに「レ」マークを記入すること。
- 【ヘ.仕様】 ・ 「電動機の定格容量」は、駆動装置が電動機である場合のみ、「定員」は乗用エレベーターについてのみ、「踏段の幅」はエスカレーターについてのみ、「勾配」はエスカレーター及び階段の部分、傾斜路の部分その他これらに類する部分に沿って昇降するエレベーターについてのみそれぞれ記入すること。速度は定格速度、速い方の速度を記入する。 Ex. 【ヘ.】欄(UP30/DN45m/min)

#### 【6.検査の状況】

- 【イ.指摘の内容】 ・ 検査結果、是正が必要と認めるときは「要是正の指摘あり」チェックボックスに「レ」マークを記入し、
- 【ロ.指摘の概要】 ・ 当該指摘された箇所の全てに建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは併せて「既存不適格」のチェックボックスに「レ」マークを記入し、要重点点検
- 【ハ.改善予定の有無】 ・ が必要と認めるときは「要重点点検の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを記入すること。

#### 【7.不具合の発生状況】

- 【イ.不具合】 ・ 第三面の「不具合の概要」欄に記入したとき「有」のチェックボックスに「レ」マークを記入すること。
- 【ロ.不具合の記録】 ・ 上記で「有」としたとき、その記録が有るときは「有」のチェックボックスに「レ」マークを記入のこと。
- 【ハ.改善の状況】 ・ 当該不具合が既に改善済のときは実施済のチェックボックスに「レ」マークを記入すること。改善を予定している場合は、改善予定のチェックボックスに「レ」マークを記入し、併せて改善予定年月の最も早いものを記入すること。
- ・ 改善の予定がない場合はその理由を記入すること。

#### 【8.備考】

- ・ **大臣認定等取得したものは名称と認定番号を記入する。**
- ・ 乗用・人荷用・寝台用エレベーターのうち昇降行程が「7m以下」の場合記入する。

